

仕 様 書

仕様書番号 御建土第 6 河－2 号

工 事 名 排水樋門補修工事

特記仕様書

第1章 総 則

第1条 適用

本工事は、樋門長寿命化計画により茶田原川樋門、中坪川樋門の補修工事を施工するものであり、施工に当たっては、下記に準拠する他、本特記仕様書により実施するものとする。

ただし、本特記仕様書と共通仕様書が重複する条項で、内容が一致しない場合は本特記仕様書を優先する。

- (1) 岐阜県建設工事共通仕様書
- (2) 施設機械工事等共通仕様書（農林水産省）
- (3) 施設機械工事等施工管理基準（農林水産省）
- (4) 土木工事施工管理基準（農林水産省）

第2条 設計及び製作

本工事に適用または準用する技術基準等は、下記に準拠する。なお、重複する事項については、本仕様書を優先する。また製作施工に特許事項を使用する場合は、すべて請負人側の責任において処理するものとする。

なお疑義が生じた場合は双方協議の上、監督員の指示に従うものとする。

- (1) 河川管理施設等構造令
- (2) 水門鉄管技術基準
- (3) 河川砂防技術基準
- (4) ダム堰施設技術基準
- (5) 水門・樋門ゲート設計要領
- (6) 機械工事塗装要領
- (7) 日本工業規格(JIS)
- (8) 日本電機工業会標準規格(JEM)
- (9) その他、関係規則・規格基準

第3条 施行場所

可児郡 御嵩町 中地内

第4条 疑 義

本仕様書並びに添付図書は、設備の基本概要を示すものであり、疑義を生じた場合は協議を行うものとする。また、明記していない部分であっても工事に必要なものについては完備するものとする。

第5条 提出書類

受注者は、岐阜県建設工事共通仕様書に定める書類を作成し、提出するものとする。

なお、受注者は作業に先立ち施工計画書及び材料承認図を提出し、監督員の承諾を得た後整備にかかるものとする。また、これを変更する場合も同様とする。

第6条 安全管理

- 1. 受注者は、工事の実施に当たり岐阜県土木工事等施工技術安全指針及び保安、公衆衛生等に関する諸法規を厳守するとともに、工事の安全に留意し、災害、事故等の防止に努めなければならない。
- 2. 工事の実施に影響を及ぼす事故、人命に影響を与える事故、若しくは第三者に損害を与える事故が発生した時は、応急の措置を講ずるとともに、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。

第7条 環境負荷の軽減

工事における環境負荷の軽減について、現場作業員への環境教育、建設機械のアイドリング時間の縮小、自転車利用の促進、粉塵の飛散防止、排出ガス対策型建設機械の利用促進、低騒音型建設機械の利用促進、低振動工法の利用促進、資材の再資源化促進、再生資材の積極利用、建設廃材の適正処理の徹底、過剰な梱包の削減指導、現場内における分別収集の実施等、工事に関連した環境負荷の軽減に努めること。

第8条 作業の確認及び打合せ

受注者は、原則として主要作業の各段階毎に作業内容及び進捗状況を監督員に報告し、承諾を得たうえで次の作業を進めなければならない。

第9条 土地の使用等

受注者は土地、工作物等を使用する場合は、所有者又は占有者の承諾を得て、受注者の責任において使用するものとする。また、既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任において原形復旧するものとする。

第10条 契約変更

契約変更は、工事請負契約書によるほか、工事内容に著しい変更が生じた場合は、発注者・受注者協議のうえ契約変更することができるものとする。

第2章 整備

第11条 整備範囲

本工事の施工範囲は、次に示す設備とする。

名 称	数 量	施工内容
鋼製スライドゲート	2 門	水密ゴム取替 扉体塗装（工場） 戸当り塗装（現場）
付属設備	1 式	開閉器（現場） 防護柵塗装（現場） タラップ塗装（現場）

第12条 主要仕様

本工事におけるゲート設備の仕様は以下のとおりとする。

	洪水吐ゲート
形式	鋼製スライドゲート
門数	2門
有効幅	1.25m
有効高	1.5m
操作水深	前面水位 1.5m 後面水位 0.0m
揚程	1.6m
水密方式	後面四方ゴム水密
開閉方式	手動スピンドル式 (1本吊)
操作方法	機側操作

第13条 規格・材質

各部に使用する材料の規格、材質は次に示すものまたはこれらと同等品以上とし、購入品はいずれも責任あるメーカー品で監督員の承認を得たものとする。

- ・扉体 SS400 以上とする。ただし、水密ゴム押え板、B・N 等については SUS304 以上とする。
- ・その他 維持管理上、将来にわたり容易に入手可能なものを使用する。

第14条 塗装仕様

各機器の塗装仕様は、共通仕様書によるほか、次によるものとする。

- ・鋼製スライドゲート 扉体装置、戸当装置

工種	染料名	標準膜厚
素地調整	一種ケレン	
プライマー処理	エポキシジンクリッチプライマー	15 μ
下塗り (1)	エポキシ樹脂塗料	100 μ
下塗り (2)	エポキシ樹脂塗料	100 μ
中塗り	エポキシ樹脂塗料	40 μ
上塗り	エポキシ樹脂塗料	40 μ
計		295 μ

- ・防護柵、開閉装置

工種	染料名	標準膜厚
素地調整	三種ケレン	
下塗り (1)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	80 μ
下塗り (2)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	80 μ
中塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料	40 μ
上塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料	30 μ
計		230 μ

第15条 輸送

輸送については、「共通仕様書」によるほか、次によるものとする。

- (1) 製品等の現場への搬入は施工計画書に基づき行うものとする。また、輸送中において製品等に損傷を与えた場合は、監督員に速やかに報告するとともに、その指示に従い請負者の責任において処置しなければならない。
- (2) 製品等の輸送中または現場での仮置き中における製品等の損傷、汚損、腐食を防止できる方法により荷造りしなければならない。

第16条 据付

据付については、「共通仕様書」によるほか、次によるものとする。

- (1) 据付にあたっては、当工事の経験ある技術者を常駐させ技術的指導監督を行うものとする。
- (2) 据付時に製品を傷めないように留意する。また、近接の既設構造物等にも損傷を与えないようにする。
- (3) 据付に要する仮設資材、機械器具、電力高熱用水等は全て請負者の負担とする。
- (4) 倉庫、現場事務所、作業員宿舍等は全て請負者の負担とする。

第3章 試運転及び検査

第17条 試運転

整備完了後は、監督員の立会いのもと、試運転を実施するものとし所定の目的が達成されていなければならない。

第18条 完成検査

完成検査は、所定の手続を経て実施するものとし、その結果の合格をもって発注者に引渡しを完了するものとする。

特記仕様書

1. 妨害又は不当要求に対する通報義務

①受注者は、契約の履行に当たって、暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。なお、通報がない場合は入札参加資格を停止することがある。

②受注者は、暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期限内に業務を完了することができないときは、御嵩町に履行期間の延長変更を請求することができる。

2. 入札参加資格に関する事項

御嵩町から、「御嵩町が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱」に基づく入札参加資格停止措置を、競争入札参加資格確認申請期限日から入札の日までの期間内に受けていないこと。又は同要綱別表に掲げる措置基準に該当しないこと。

3. その他

落札者及び落札者である共同企業体の構成員が、御嵩町から、「御嵩町が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱」に基づく入札参加資格停止措置を、入札の日から本契約締結の日までの期間内に受けたときは、当該落札者と契約を締結しないものとする。また、契約後に同要綱に基づく入札参加資格停止措置を受けた場合は、原則、契約を解除する。

4. 誓約書の提出

受注者は、暴力団関係者でないこと、暴力団関係者であるとの疑義が生じた場合に御嵩町が可児警察署に照会することに承諾し、確認できた情報を今後の契約等における身分確認に利用することに同意する旨の誓約書を契約締結時に提出すること。ただし、誓約書は一度提出されれば良いものとし、以後御嵩町と契約を行う場合は提出を不要とする。

御嵩町長と可児警察署長の間で締結された「御嵩町が行う事務事業から暴力団排除に関する合意書」（平成22年11月22日締結）に基づき、町が発注する建設工事、建設関連業務、森林整備業務及び物品調達等の契約から暴力団を排除する措置をおこなっています。